

申3号「2020年度賃金引き上げ」の 団体交渉を行う!!

JR東労組ステーションサービス協議会は、3月16日に申3号「2020年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」の団体交渉を行いました。社会的にも様々なことが発生している中で、「安全」を第一に、「駅業務サービスの戦略会社」として、組合員が日々、業務品質の向上に真摯に取り組んでいます。順調な経営を確保できているのは、私たちがこの間、「お客さまに寄り添い、お客さまが求めているサービスの提供」の実現に向け取り組んでいる結果だと強く訴えてきました。

《趣旨説明》

- ・吉祥寺駅、秋葉原駅、高田馬場駅、大井町駅と乗車人員が10万人を超える大規模駅を一括受託しており、確実に事業規模を拡大し、営業収益は対前年比113.2%を達成し好調を維持している。
- ・その時々状況が変化の中で、私たち組合員は台風等の災害、ラグビーW杯2019に伴うインバウンド対応、新型コロナウイルスに伴う対応等、お客さまから信頼される企業づくりに取り組んできた。その結果、順調に推移している会社の経営に大きく貢献をしている。
- ・社員数の増加に伴う人件費の増加、パソコンの増配備、タブレット端末の支給等、掛かる費用が増大したが、将来にわたり経営を進めていく中で必要不可欠である。さらに、お客さまへの接客サービスや業務知識等の向上を継続する上でも投資を続ける必要がある。
- ・経営的に順調に推移していることから、基本給一律6,000円引き上げに対する支払い能力は十分にある。さらに定期昇給係数4の実施を求める。

基本給一律6,000円引き上げ、定期昇給を要求!

- 〈組合〉年度初の見通しは、悪い計画であったが、順調に受託が進んだ根拠はあるのか。
- 〈会社〉施策が順調に進み現場社員の尽力によるものである。
- 〈組合〉賃金の引き上げは、労働者にとって大切である。基本給を引き上げることで、会社の企業価値が高まる。年収が増えれば優秀な人材確保にも繋がるが、どう考えているか。
- 〈会社〉賃金・福利厚生が魅力的なのは当然である。賃金面もそうだが、引き続き「期待する役割」を少しでもクリアすることが全てに繋がると考える。
- 〈組合〉好調な営業収益の結果からすると支払い能力は十分にある。企業人としてのモチベーションを高めるため、**順調な業績や企業体力を導いた組合員へ適正な評価をするべきだ!**
- 〈会社〉申し入れいただいた基本給の引き上げ、定期昇給の実施は然るべき時に回答をする。

JR東労組の旗の下に結集し、満額回答を勝ち取ろう!